

地域づくりインターンの展開

【概要】

地域協働人材育成プログラムの実施・拡充として地域づくりインターンの展開を実施する。地域づくりインターンとは、ある一定期間（2週間程度）継続して農山漁村地域に滞在し、住民との交流を基礎に地域づくり活動に主体的に参加するプログラムで、1996年の旧国土庁の実験事業を皮切りに、全国的に展開されている地域づくり活動である。本プロジェクトでは地域学部における地域づくりインターンのプログラム化を実施する。プログラム化に際しては、中間支援組織と連携してプログラム開発や実施業務を行うことで、大学の「知」、中間支援組織の実践ノウハウを融合したかたちで、地域に対して貢献できるプロジェクトとする。

【キーワード】 地域づくり，農山漁村，協働，滞在型交流

【参加メンバー】 地域政策学科 准教授 筒井一伸（総括・プログラム開発）
地域政策学科 教授 藤井 正（プログラム開発）
地域政策学科 准教授 竹川俊夫（学生への効果測定の検討）
地域教育学科 准教授 福田恵子（学生への効果測定の検討）

【計画】 1年目： (1) 県外地域での実施
(2) 地域側事業評価方法の検討
2年目： (1) 県外地域での実施
(2) 事業評価方法の検討⇒相互補完関係の評価検討
(3) 成績評価方法の検討・実施
⇒インターンシップの単位として単位認定の方法の検討
3年目： (1) 県外地域での実施
(2) 事業評価の実施

【対象学年等】・学部3年生以上を検討，定員は1年目5名程度，2年日以降10名程度
・上記は単位化（インターンシップ）の履修学年との関係

【連携先】 《中間支援組織》
特定非営利活動法人 100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター